

下野 読者登壇 10代の声
428.12.21(水) 5角

選手後押しする 柔道整復師へ

茂木町 高橋 美聡
(高校3年 18歳)

◇私が今年一番印象に残ったことは、リオデジャネイロ

五輪です。お家芸の柔道復活や男子卓球個人、団体での史上初のメダル獲得など多



来年も此
予定メまろ

今年
は
は

大田原市 鈴木 啓子

くの選手が活躍し、メダル獲得数は史上最多となりました。その中でも、けがを乗り越えて五輪という舞台で戦った選手には、とても感動しました。

◇私は柔道整復師の資格を取得し、整骨院などで働き、けがをしてスポーツができない人たちを助けたいと思って

います。今回の五輪では女子レスリングの吉田沙保里選手や競泳の萩野公介選手など、けがを乗り越えて五輪という舞台で活躍した選手がたくさんいました。

命や将来に影響 いじめ許さない

高根沢町 小堀日菜乃
(中学1年 13歳)

◇いじめをするのはよくないと思います。なぜなら、いじめによって命を失うことがあるからです。私はいじめを受けた人が自殺をしてしまうという悲しいニュースをテレビで見ても、とてもひどいことだと思いました。

◇また、いじめを受けた人は、いじめがなくなっても心切だと思いました。

◇この選手も試合終了後、口をそろえて「支えてくれた人に感謝」と言っていました。それを見て、私もけがをしてしまった人の支えになりたいと強く思いました。

に傷が残ります。将来、その傷を背負ったまま、生活していくのは大変なことだと思います。このように、いじめは人の命、そして、将来の生活にも影響してしまうので、絶対に許してはいけなと思います。

◇私の学校では、10月を「いじめストップ月間」とし、一人一人が自分の行動を見直そうという呼び掛けがありました。私はいじめをしないこと、そして、いじめを自撃したら、すぐに助けてあげることが大切だと思いました。